**小学生(低)礼拝11月①**

**洗礼ヨハネと三大試練（イエス様②）**

 　今日のお話は、「洗礼者ヨハネ」についてとイエス様が乗り越えた「三大試練」の二つのお話をします。

イエス様は大人になると、神様の国を作るために家を出ました。しかし、神様の国を作るのは、イエス様一人ではできません。一緒に行動をする仲間となる人が必要です。神様は、その仲間として、「ヨハネ」という人物を準備していたのです。

ヨハネは、ガリラヤと言うところで、神様の事を伝える為に、伝道をしていました。ヨハネは「悔い改めよ。天国は近づいた！」と叫びながら人々に洗礼を授けていました。「洗礼」というのは、水の中に自分の体を浸して清める、つまり汚れを取り除くことをいいます。サタンの心を追い出して神様を愛する心を持つということです。

ヨハネはとても頭がよく、お話も上手でした。そして、神様のために、いつもお祈りをしていました。なので、人々は、このヨハネこそが、救世主・メシヤなのではないかと噂をされるほどでした。それくらい、ヨハネは、人望がありました。

しかし、ヨハネは「わたしのあとから来る人はわたしよりも力のあるかたで、わたしはそのくつをぬがせてあげる値うちもない」（マタイ3/11）と自分は、メシヤではないという事を人々に言いました。わたしよりも力のある方こそが、「イエス様」のことなのです。

そして、ヨハネとイエス様が出会いました。ヨハネがヨルダン川で洗礼を授けていると、そこにイエス様が現れたのです。イエス様は「洗礼を授けていただきたい」とヨハネに言いました。

ヨハネは「私こそあなたから洗礼を受けるべきです」と、言いました。ヨハネはイエス様の偉大さを理解していました。しかし、イエス様は「今は受けさせてもらいたい」と、言われたので、洗礼ヨハネは言われた通りにイエス様に洗礼を授けました。

ところが、しばらくすると、イエス様が来られる前まで自分を慕っていた人々が皆イエス様を尊敬するようになりました。すると、洗礼ヨハネは、少しずつ淋しさを感じるようになったのです。

洗礼ヨハネは、イエス様と初めて出会った時の感動を忘れ、自分のことばかり考えるようになっていきました。そうして、イエス様と神様のことがだんだんと信じられなくなってきました。

その心がどんどん大きくなるにつれて、イエス様と一緒にいることが苦しくなりました。

そして、ついに、ヨハネはイエス様のもとを離れる、ことを決めました。神様はとても悲しみました。しかし、ヨハネはそんな神様のことも忘れてしまったのです。

これによって、イエス様と一緒に歩んでほしいという、神様の願いはすべて壊れてしまいました。神様の願いが分からずに、イエス様と別れて生きる道を選んだ、ヨハネも、結局は、牢屋に入れられて悲しい人生を送ることになってしまうのです。

本当は、ヨハネが、イエス様と一緒に行動をすることを守っていれば、神様の国を出発することができたはずでした。ヨハネは、自分の思いを超えて神様が何を願われているのかを尋ねなければいけませんでした。

私たちも、洗礼ヨハネのように、人と自分を比べて寂しく感じることもあるかもしれませんが、自分の思いに負けずに、神様の願いや、神様の思いを尋ねていくことが大切です。

さて、イエス様はヨハネが牢屋に入れられたことを知り、とても悲しみました。だからと言って、歩みを止めるわけにはいきません。イエス様は、もう一度、新しく出発をする決意をするために、荒野で40日40夜断食をすることにしました。

断食と言うのは、食べ物を一切食べないという事です。すると、そのようなイエス様の下に、サタンが現れました。サタンはイエス様に３つの試練を与えました。

一つ目の試練です。サタンは、イエス様に

「もしあなたが神の子であるなら、これらの石がパンになるように命じてごらんなさい」(マタイ4章3節)

といいました。荒野にある石ころをパンに変えてみなさいとサタンがささやいてきたのです。

そこで、イエス様は旧約聖書の中の神様の言葉を答えました。「『人はパンだけで生きるものではなく、神の口から出る一つ一つの言で生きるものである』と書いてある」(マタイ4章4節)人間が生きるためには、もちろん食べ物を食べなければいけませんが、それだけではなく、神様の言葉を受けて、神様の愛の中で生きるのだと、答えられたのです。

イエス様は、一つ目の試練に打ち勝ったのです。

2つ目の試練です。

サタンはイエス様を聖なる都、エルサレムに連れて行きました。そして、宮の頂上に立たせました。そして、サタンはこう言いました。

「もしあなたが神の子であるなら、下へ飛び降りてごらんなさい」(マタイ4章6節)

もし神の子であれば、神様の遣い達が助けてくれるだろうから、ここから飛び降りてみなさいと言ったのです。

イエス様は旧約聖書の神様の言葉を答えました。「『主なるあなたの神を試みてはならない』とまた書いてある」(マタイ4章7節)

イエス様は、神様を試すという考えを持ってはいけないと答えたのです。

イエス様は、2つ目の試練も、打ち勝ったのです。

3つ目の試練は、サタンはイエス様を高い山に連れていきこの世のすべての豊かなものを見せて言いました。

「もし、あなたが、ひれ伏して私を拝むなら、これらのものを皆あなたにあげましょう」(マタイ4章9節)

サタンは、神様ではなく、自分を拝めばこの世のすべてのものをあげようと言ったのです。

イエス様は、旧約聖書の神様の言葉を答えました。「サタンよ、退け。『主なるあなたの神を拝し、ただ神にのみ仕えよ』と書いてある」(マタイ4章10節)

このように、私たちが敬拝し、従っていくのは、神様だけであると、はっきり答えたのです。

サタンは3つの試練を通して、イエス様が神様を裏切りサタンの思うように考え、行動するように誘惑しました。しかし、イエス様は、神様の言葉を信じ、その誘惑に勝つことが出来ました。皆さんも、どんな誘惑があってもいつも神様を愛する私たちでいられるように頑張りましょう！